



循環器病対策における地域発好事例の共有
～全国均てん化に向けて～
産官学民による国際的な議論から抽出された
循環器病対策の推進に求められる5つの提言

概要版

2022年6月

特定非営利活動法人 日本医療政策機構

国及び関係ステークホルダーは、都道府県や地域における循環器病対策の重要性を再認識し、地域や当事者のニーズに寄り添う施策推進、多様な知見活用を可能にする施策を実施すべき。

✍️ マルチステークホルダーによる計画立案

ミクロ視点

👥 ニーズに寄り添う施策推進

都道府県や地域ベースでの対策推進
地域の担うべき役割を再認識し、地域ごとに異なるニーズを踏まえた対策が重要

- 都道府県による、予算獲得、臨床研究の推進、予防・啓発活動、患者・当事者リーダーとの協働、地域連携体制の構築等の推進
- 国および関係ステークホルダーによる、支援策や協力事業の強化

🤝 患者・当事者との連携・協働

患者・当事者自身によるアドボカシー活動だけでなく、施策推進のための患者・当事者の参画促進が重要

- がん対策や海外好事例を参考に、当事者目線の疾患啓発、臨床研究の推進、イノベーションの活用、デジタルヘルスの推進、治療アウトカムデータの整備などにおける、医療関係者や行政関係者からの患者・当事者との連携や協働の推進

吸い上げ/
共有化



活用の支援



マクロ視点

💡 幅広い知見の総動員

📌 好事例の収集・横展開

限られた資源を有効活用する創意工夫・デジタルヘルス推進等の国内外の好事例共有が有効

- 地域医療情報連携ネットワークの活用、多職種連携に向けた協議会の設置、移行期医療の体制強化、小児生活習慣病予防検診の拡充、プレホスピタルにおけるデジタルテクノロジーの活用など多様な好事例の横展開を支援する施策の推進や予算措置

🚀 イノベーション・社会変化の活用

現状の制度・枠組みに留まらず、イノベーションや社会変化を前提とした医療提供体制の再編成が必要

- 日常生活、予防や啓発、救急搬送時、急性期、回復期・慢性期、再発・合併症・重症化予防などの多様なフェーズ、および各フェーズ間の連携でのイノベーションの積極的な活用を前提とした制度設計や規制改革



他疾患対策や医療システム全体を視野に入れた**循環器病対策の重要性訴求**

国及び都道府県での循環器病対策推進に向けた打ち手議論の深化を目的に、国内外・産官学民のオピニオンリーダー・関係者による会合を通じ、全国均てん化に向けた施策洗い出し・提言を実施。

背景

1. 循環器病対策の重要性向上

- 心疾患や脳卒中に代表される循環器病は、日本人の死因の上位(心疾患：2位、脳血管疾患：4位)であるだけでなく、後遺症や要介護に至るケースも多く、健康寿命にも大きな影響を及ぼしている
- 疾病負荷が大きいため、我が国をはじめとした多くの国においてその対策は喫緊の課題となっており、国レベルでの対策が求められている

2. 国による循環器病対策推進基本計画の策定

- 我が国では循環器病対策基本法が2019年に施行され、2020年に「循環器病対策推進基本計画」が閣議決定された
- 「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸および循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目指し、「循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」、「循環器病の研究推進」の目標が掲げられた

3. 都道府県循環器病対策推進計画の策定

- 国の循環器病対策推進基本計画を受け、都道府県においても「循環器病対策推進計画」が策定されている
- 同計画は地域レベルでの循環器病対策の指針としての活用が期待されており、今後より一層各地域事情を踏まえた個別化やニーズに応じた多様な施策の取り込みが求められる

本プロジェクトの概要

目的

- 循環器病対策の課題を抽出、好事例や教訓の共有により、必要な施策を洗い出し、提言
- 実現可能な政策オプションを国内外のステークホルダーに発信、循環器病対策の進展に寄与

実施内容

- アドバイザリーボード会合・専門家会合開催
 - 国内外の当分野における産官学民のオピニオンリーダーや関係者が参集
- 提言を発表する公開シンポジウムの開催

参加者

※参加者名はP8に記載

- 循環器病専門家（9名）
- 医学系研究者（5名）
- 行政・立法府（4名）
- 患者・当事者（2名）
- 産業界（2名）

日程

- 2021/09：第1回アドバイザリーボード会合
- 2021/10：第2回アドバイザリーボード会合
- 2021/12：グローバル専門家会合（公開シンポジウム）
- 2022/02：第3回アドバイザリーボード会合

主なトピック

- 循環器病対策における課題抽出
- 課題解決の方向性・均てん化に向けた打ち手

産官学民による国際的な議論では多様な視点からの活発な議論が交わされ、今後の政策立案に向けた示唆となる6つの視点が抽出された。

総合的な視点の計画/実行

循環器病対策の推進に向けた総合的な視点を含めた計画立案/実行

循環器病対策の推進に向けた
継続的な予算措置が必要

循環器病対策推進基本計画のみならず、
その他の医療計画への働きかけが重要

均てん化に向けて、地域の好事例から
エビデンスを創出すべき

地域ごとの異なるニーズに即した
基本計画策定が必要

循環器病対策推進基本計画の確実な実施のため、
各ステークホルダー間の連携が必要

課題や好事例、成果を共有する協議の場を
多層的に構築すべき

啓発・予防

マルチステークホルダーによるフェーズに合わせた啓発・予防施策の推進

循環器病の複雑な全体像を考慮した
啓発・予防に関する計画を策定すべき

罹患可能性や社会的インパクト、認知度を踏まえ、
幅広い人への啓発・予防による認知度の底上げが重要

ターゲットを絞った啓発・予防施策や医療提供
による早期発見・早期介入の促進が重要

多職種や非医療セクターを含む多業種との連携を
前提とした啓発・予防施策が必要

サービス提供体制

保健、医療や福祉における提供体制の整備や是正

医療提供体制の地域格差是正と全国均てん化を推進

急性期、回復期、慢性期、終末期をつなぐ
シームレスな診療体制の構築が必要

ICT・デジタルテクノロジーの活用により
医療提供体制を整備かつ補完することが必要

疾患に応じた搬送先の振り分けを目指し、
救急搬送システムの見直しに着手すべき

かかりつけ医の機能強化が必要

研究推進体制

国家戦略としての循環器病研究の推進

都道府県のデータや実践を元にした研究の推進、
及びその実装を通じた、均てん化の促進が重要

研究活性化のためには、抜本的な予算措置を含めた
基礎研究の裾野の拡大が重要

橋渡し研究や社会実装に寄与する総合的研究も促進し、
基礎研究を含め研究における好循環を創出すべき

診療では捉えきれない生活中的データの活用に向け、
市民・当事者参画を伴った研究体制を構築すべき

患者・当事者支援体制

患者・当事者主体の循環器病対策の実現

循環器病の特性に即した患者・当事者の
相談窓口、及び障がい者の就業・就学支援が必要

患者・当事者が果たせる役割を再認識し、
重要なステークホルダーの一員として連携すべき

政策横断的な施策

イノベーションも活用した診療情報や健康情報の共有や活用

他疾患のも参考に
データの利活用の推進が必要

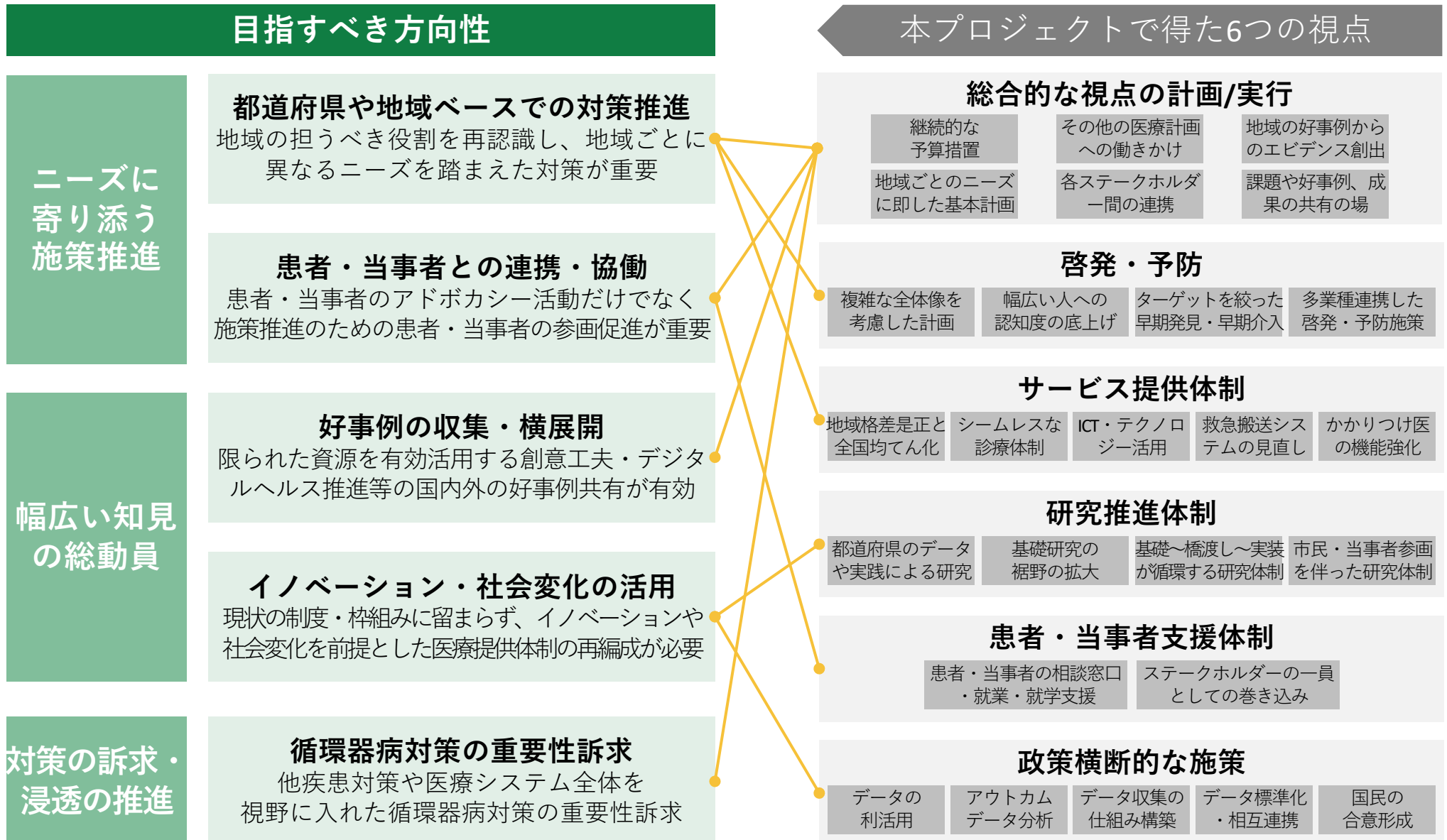
診療実態を把握し、アウトカムデータ分析を
推進すべき

現場のデータ入力支援をはじめとした
データ収集の仕組み構築を支援すべき

データの標準化やデータ同士の相互連携の
推進が必要性

大規模データベース整備に向けた
国民の合意形成の必要性

6つの視点を踏まえると、地域・当事者のニーズに寄り添う施策（ミクロ視点）、様々な知見の共有化と活用（マクロ視点）の両輪での計画策定と、循環器病対策自体の重要性訴求が肝要。



日本医療政策機構では、21年度で得た示唆を基に、22年度は「都道府県や地域ベースでの対策推進」及び「好事例の収集・横展開」を核とし、提言内容の社会実装に向けた取り組みを推進。

	実施内容	詳細	実施時期	提言との対応
	循環器病対策推進に向けた 地方サミット の開催	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に都道府県の循環器病対策の推進を後押しすべく、各地方の行政担当者、患者・当事者リーダーなど、産官学民のリーダーに、四国地方などの地方単位で、参集いただき、好事例や教訓を共有し議論 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年9月 2022年11月 	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">都道府県や地域ベースでの対策推進</div> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">患者・当事者との連携・協働</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">好事例の収集・横展開</div> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">イノベーション・社会変化の活用</div> </div> <div style="background-color: #d9ead3; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">循環器病対策の重要性訴求</div> </div>
	循環器病対策推進に向けた 全国サミット の開催	<ul style="list-style-type: none"> 各都道府県の行政担当者、患者・当事者リーダーなど、産官学民のリーダーに全国から参集いただき、好事例や教訓を共有し議論 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年2月 	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">都道府県や地域ベースでの対策推進</div> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">患者・当事者との連携・協働</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">好事例の収集・横展開</div> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">イノベーション・社会変化の活用</div> </div> <div style="background-color: #d9ead3; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">循環器病対策の重要性訴求</div> </div>
	「循環器病対策の都道府県での推進に向けた手引き」の策定・発信	<ul style="list-style-type: none"> 各サミットで抽出された好事例や教訓を手引きとしてまとめ、全国のステークホルダーに発信 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年4月 	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">都道府県や地域ベースでの対策推進</div> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">患者・当事者との連携・協働</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">好事例の収集・横展開</div> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; text-align: center;">イノベーション・社会変化の活用</div> </div> <div style="background-color: #d9ead3; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">循環器病対策の重要性訴求</div> </div>

本プロジェクトでは、国内外の当分野における産官学民のオピニオンリーダーや関係者に、アドバイザーボード・メンバーやスペシャルアドバイザーとしてご参画いただいている。

アドバイザーボード・メンバー

磯部 光章	日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院 院長
今村 聡	日本医師会 副会長
大竹 正規	GEヘルスケア(株)薬事・安全管理本部兼政策推進本部本部長
北岡 裕章	高知大学 老年病・循環器内科学講座 教授
黒田 知宏	京都大学大学院 医学研究科 医療情報学 教授
小室 一成	東京大学大学院 医学研究科 循環器内科学 教授
近藤 克則	千葉大学 予防医学センター 教授
永井 良三	自治医科大学 学長
中尾（舛方） 葉子	国立循環器病研究センターOIC 情報利用促進部レジスリ推進室長
野地 洋介	心疾患当事者／慶應義塾大学大学院社会学研究科修士課程
原 量宏	香川大学 瀬戸内圏研究センター 特任教授
張家 銘	バルティファマ(株)マーケットアクセス・政策・新製品企画本部本部長
平田 健一	神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野 教授
福原 斉	心臓弁膜症ネットワーク 代表理事
星川 洋一	香川県 健康福祉部 医療調整監
前村 浩二	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 循環器内科学 教授
武藤 真祐	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 臨床教授
藤井 卓	長崎地域医療連携ネットワーク協議会／長崎県医師会 副会長
矢崎 義雄	公益社団法人 日本心臓財団 理事長

スペシャルアドバイザー

佐藤 啓	参議院議員
自見 はなこ	参議院議員／脳卒中・循環器病対策フォーラム 議員連盟事務局長

グローバル専門家会合 ご登壇者

磯部 光章	日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院 院長
桑原 政成	厚生労働省健康局がん・疾病対策課課長補佐兼循環器病対策専門官
小室 一成	東京大学大学院 医学研究科 循環器内科学 教授
自見 はなこ	参議院議員／脳卒中・循環器病対策フォーラム 議員連盟事務局長
中尾（舛方） 葉子	国立循環器病研究センターOIC 情報利用促進部レジスリ推進室長
野地 洋介	心疾患当事者／慶應義塾大学大学院社会学研究科修士課程
張家 銘	バルティファマ(株)マーケットアクセス・政策・新製品企画本部本部長
星川 洋一	香川県 健康福祉部 医療調整監
Rifat Atun	Professor, Global Health Systems, Harvard University